

---

# 兄妹物語

カルピスオレンジ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

兄妹物語

### 【Nコード】

N8294L

### 【作者名】

カルピスオレンジ

### 【あらすじ】

とある所にいる兄妹の物語。

**（前書き）**

初投稿です。大目に見てやってください。

チュン チュン チュン

「うぜえ」

朝、俺は鳥の鳴き声で起きるといってどこかの少女漫画のような目覚め方をし、最悪の気分になっていた。

「お兄ちゃん！ 朝だよ！」

扉の向こうから無駄にデカイ声が聞こえてくる。

「分かってるよ。」

俺は声の主にそう答えると扉を開けた。

「拓海お兄ちゃん、おはよう！」

朝っぱらから元気にあいさつをしてくるのは俺  
「うちやたくみ打矢拓海の妹」  
「ちやくれは打矢紅葉だ」

別に義理だの腹違いだなんて特別な事情などなく、正真正銘俺の実の妹である。

「お前なあ、いい加減お兄ちゃんって呼ぶのやめろよ。もう高1だろ。」

「ええー、いいじゃん別に、男の人ってこう呼ばれると萌えるんでしょ？」

「実の妹に萌えるほど俺は変態じゃねえよ。」

こいつは家族の鼻屑目を抜きにしてもかなり美少女だ。実際、よく告られたり、ラブレターをもらったりしている。ちなみに俺はフツ―だ。

そんな普通のやつが美少女にお兄ちゃんなんて呼ばれてみる、周りの方はドン引き、妹に惚れてる奴と妹属性の変態共からは殺意の視線を感じる。

「えー、でもお兄ちゃんの持つてるHな本の中には妹系のもあったよ。」

「ああ、あれは義理の……ナゼソノコトヲ??」

「ふふーん、お兄ちゃんのことので私が知らないことはほとんどないんだから。」

「……」

俺は紅葉の横をすつと通りぬけると一目散に逃げた。

そう、あいつはどういう訳か若干ブラコンの気がある。朝、起きたら俺の布団のなかにアイツがいることなんて日常茶飯事。風呂場で着替えを覗かれるのも、俺のYシャツやTシャツを勝手に着ているのにも慣れてしまった。

学校での話をしているときも女の子が話に出ると、

「お兄ちゃん、その子とどういう関係?」

と、何とも形容しがたい怖い笑顔で聞いてくる。

もし俺に彼女なんか出来たらアイツはどうするんだろう。  
そんなことを考えながらトイレに駆け込むと鍵を閉め、便座に腰掛ける。

「はぁ、やっと落ち着ける。」

コンコン、コンコン

ビクッッ!!

足音など聞こえず、突然ドアをノックする音が響き心臓が止まるか  
と思った。

「お兄ちゃん、居るの?」

それは慣れ親しんだ紅葉の声だったが、どこと無く暗いものが含ま  
れている気がした。

「ああ、いるけど」

「どうしてさっきは走って行っちゃったの?」

「ちょっと漏れそうだな」

「…そう」

なんてことの無い会話。

だが、俺はなんとなくいつもとは違う感じがした。  
だから俺は意を決して紅葉に質問した。

「なあ、紅葉。ひとつ聞いてもいいか」

「何、お兄ちゃん？」

「もし俺に彼女が出来たら、どう思う？」

「……」

「……」

「…そうだね、もしそんなことになったら……」

「……」

「その彼女さんを殺しちゃうかもね」

「!?!」

「だってあたしは」

「……」

「お兄ちゃんの事、愛してるから」

「……」

「だから、お兄ちゃん、あたしのそばから居なくなったらイヤだよ。」

「……」

「お兄ちゃん。ご飯出来てるからはやくしてね。」

さっきまでのやり取りがうそのようないつも通りの口ぶり。

俺ははじめて妹が怖いと思った。

結論

家の妹はヤンデレである



（後書き）

いかがでしたでしょうか。  
出来たら評価お願い致します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8294/>

---

兄妹物語

2010年11月5日00時36分発行